


様式1 (視察用)

会派行政視察報告書

平成27年度会派 創政会 の行政視察研修を、平成27年11月
18日(水)から ~~一月~~ 日()までの 1 日にて執り行いましたので、
その概要を下記のとおり報告いたします。

平成27年11月30日

名取市議会議長 山口 實 様

会派名 創政会
代表 佐々木 哲男 

記

1 期 日 平成27年11月18日(水) ~ 月 日 ()

2 参加人員 5 名
(氏名) 佐々木 哲男 丹野 政喜
長南 良彦 荒川 洋平
大友 康信

3 視 察 先 (1) 第10回全国市議会議長会 研究フォーラム in 福島
(2)
(3)

4 行 程 表 別紙のとおり

5 調 査 事 項 別紙のとおり

6 所 感 別紙のとおり



行程表

<p>期 間</p>	<p>平成27年11月18日(水)</p>
<p>参加者</p>	<p>佐々木哲男 羽野政喜 長南良彦 荒川洋平 太田信</p>
<p>全体の行程 (使用する交通機関及び宿泊地等) ※行程表添付可</p>	<p>JR名取駅 ——— 白石駅 ——— 福島駅 — 10:15 乗換10:54 11:28</p> <p>バス 福島県文化センター ——— バス エルティ 会場 意見交換会場</p> <p>——— 福島駅 ——— 名取駅 19:33 20:40</p>

視察及び研修の詳細	視察先及び研修名	第10回全国市議会議長会 ^{研究フォーラム} 福島
	日時	平成27年11月18日(水)
	視察項目 (研修の場合記入不要)	
	具体的な調査事項 (研修の場合記入不要)	11月18日 全国市議会議長会 研究フォーラム 基調講演「大震災からの復興と備え」 パネルディスカッション 「震災・復興・地方創生の課題と自治体の役割」
	その他 (参考とした資料等)	

開催概要

■日 時

第1日目：平成27年11月18日（水）
13:00 開会（開場・受付 12:00）
第2日目：平成27年11月19日（木）
9:00 開会（開場 8:30）

■場 所 福島県文化センター（福島市春日町5-54）
[意見交換会場：エルティ（福島市野田町1-10-41）]
※福島県文化センターからバス移動

■主 催 全国市議会議長会

■後 援 総務省

■実 施 第10回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

タイムスケジュール

第1日目：11月18日（水）【会場：福島県文化センター】

- 12:00 開場・受付
- 13:00 開会式
- 13:20 第1部 基調講演
「大震災からの復興と備え」
五百旗頭 真 氏 熊本県立大学理事長
- 14:20 休憩
- 14:40 第2部 パネルディスカッション
「震災復興・地方創生の課題と自治体の役割」
コーディネーター 城本 勝 氏 NHK福岡放送局局長
パネリスト 大滝 精一 氏 東北大学大学院経済学研究科教授
役重真喜子 氏 花巻市コミュニティアドバイザー
山下 祐介 氏 首都大学東京准教授
金井 利之 氏 東京大学公共政策大学院教授
高木 克尚 氏 福島市議会議員
- 16:40 次期開催地挨拶
- 16:50 終了
- 18:00 第3部 意見交換会【会場：エルティ（福島県文化センターからバス移動）】
- 19:00 終了

第2日目：11月19日（木）【会場：福島県文化センター】

- 8:30 開場
- 9:00 第4部 課題討議
「震災復興と議会～現場からの報告」
コーディネーター 河村 和徳 氏 東北大学情報科学研究科准教授
事例報告者 伊藤 明彦 氏 陸前高田市議会議員
熊谷 伸一 氏 気仙沼市議会議員
平田 武 氏 南相馬市議会議員
- 11:00 閉会式
- 11:30 第5部 視察



所 感

第1部講演 「震災からの復興と備え」について 五百旗頭 真氏

東日本大震災の沿岸域の各被災地域の視察を重ねた五百旗頭氏が、震災からの復興状況を振り返り、阪神淡路の震災や中越地震からの教訓を、それぞれの地域の復興の取り組みのなかで、どのように生かされたのか解説された。

被災地のなかでも「行政は情報と判断材料を提供して、それをもとにして、どのような進め方が良いか決めるのは住民」という手法が上手く運んだ地域の復興が驚くほど早く進んだという。

津波の避難はてんでんこの自助である。

また、被災直後に生存救出活動が可能となるのは共助である。

地区の祭りや地域の活動といったコミュニティの充実・向上が、防災力の強化につながるの明らかであり、近年の薄弱するコミュニティをどのように強化できるかが 防災の備えを考える上で最も重要であるという点にも会派全員で共感できる場所であると意見は一致した。

第2部 【パネルディスカッション】

震災復興・地方創生の課題と自治体の役割

コーディネーター NHK 放送局

城本 勝 氏

パネラー

東北大学院教授

大滝精一 氏

花巻市コミュニティアドバイザー

役重真喜子 氏

首都大学准教授

山下祐介 氏

東京大学大学院教授

金井利之 氏

福島市議会議長

高木克尚 氏



ディスカッションは、安倍政権に対する考え方や政策や地方創生の見解が、それぞれの立場から様々な角度で語られ、とても興味深いものであった。

なかでも金井氏の分析や捉え方はインパクトもあり、「地方創生」や「女性活躍」といった政策は、国が国民に対してするネコ騙しのようであると語る。

前の課題が解決しないうちに新たな政策を上書き更新することで、福島第一原発事故や震災復興を、問題の解決無きままのうちに忘却を行おうとしているとまで言い切っている。

真の意味での地方活性化という地方創生は、既にあらゆる地域や自治体で取り組まれている事であり、新たな政策ではない。

議会の役割としては、国からの指令に対して、執行部が左右されたり振り回されることのないように「しっかりと落ち着け」と励ます重心の役割となる必要があると語る。些細で恣意的に配分される補助金交付金目当てに総合戦略ビジョンの策定に力を注ぐよりも、地域社会と民間市場経済の動向に目を向けるべきとしている。

地域の地方創生とは、これまで続けてきた地域の活性化の延長線上にあるものであり、決して新しい取り組みというわけではない。それぞれの立場で地域に知恵や情報を持ち帰り、コミュニティの充実に努め、地域社会と経済の活性化にどう生かすかなどについて、全国から集結した議員と意見を交換して会場をあとにした。